

広州日本人学校開校30周年記念式典と記念講演会

8月30日(土) 広州日本人学校開校30周年記念式典と記念講演会を行いました。この日は、朝からお祝いムード一色の1日でした。子供たちは登校するとすぐに、30周年記念Tシャツに身を包み、児童生徒、職員全員が校庭で「30th」の人文字を作って記念撮影をしました。緑色の人工芝に青のTシャツが映え、すてきな一枚となりました。

記念式典では、在広州日本国総領事館総領事の貴島様や広州日本商工会会長の古川様、学校理事会理事長の大和様よりお祝いの言葉をいただきました。

30周年記念事業として整備した中庭のオープンセレモニーでは、子供たちが考案した遊具の前でテープカットを行いました。遊具の新設やブランコの配色は子供たちのアイデアです。工事の進行中には、子供たちが中庭の変化に興味深そうに見守る姿が見られました。毎日眺めながら、「どんな遊具ができるのかな」「早く遊びたいな」と目を輝かせていた子供たち。色とりどりの遊具が姿を現すと、歓声があがりました。願いが現実となり、子供たちには笑顔があふれていました。また、広州日本商工会様から記念品として体育館の音響設備一式をいただきました。

記念講演会では、広州日本人学校校歌の制作者である山登靖さんをお招きし、校歌誕生の秘話や歌詞に込めた思いを聞くことができました。また、スペシャルライブでは、山登さんの歌声とギター、帯同メンバーのピアノやバイオリンの演奏とで体育館は一気にライブ会場に様変わりしました。最後に全員で歌った校歌は会場が一体となり、盛り上がりました。子供たちは、この記念式典や講演会を通し、これまで広州日本人学校を支えてこられた方々へ感謝の気持ちをもつと共に、愛校心を育むことができました。

現在、新しい中庭は、子供たちが休み時間に集まり、笑い声が響く場所になっています。これからも、子供たちが安心してのびのびと遊び、仲間とふれあいながら成長していける場所として、大切に使いしていきたいです。

